

令和3年度第1回熊本県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会開催概要

1. 開催日時 令和3年7月6日（火）14時00分～16時00分
2. 開催場所 熊本職業能力開発促進センター 本館2階A201研修室
3. 主な議題

- ・ 令和2年度事業実績について
- ・ 令和3年度事業実施計画について
- ・ 荒尾訓練センター部会報告について

4. 議事経過

議事に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(令和2年度事業実績について)

- ・ 託児サービス付き職業訓練について

利用者数が減少していることは、良い意味で取れば産後休暇等の利用により在職したままの者が多くなったと見えるが、一方では制度を知らない方が多いため利用者が減少したとも考えられるため、当協議会やプレスリリースなどメディア等の協力を仰ぎ、託児サービス付き職業訓練が存続するためのPRをしっかりと行うよう要望する。

- ・ 県南地域の人材育成について

離職者訓練の受講者については、ポリテクセンター熊本では熊本及び菊池で8割、ポリテクセンター荒尾では大牟田及び玉名が大半を占めており、県南地域の離職者で訓練を受けたくても受けられない者がいるのではないかと感じるため、県南地域に新たに施設を設置することは困難であると思うが、サテライト又は期間限定等の方法により職業訓練の実施はできないか、他支部での取り組み事例等を基に、県南地域の人材育成について検討し取り組んでいただくよう要望する。

(令和3年度事業計画について)

- ・ コロナ禍での訓練の実施について

今後また感染症の拡大等により、集合形式の訓練が困難となった場合に、リモ

ートでどのような訓練ができるか今後に向けて検討をお願いしたい。

- 女性訓練受講者への支援について

CADものづくりサポート科は女性専用科ということだが、男女共同参画といわれ女性の仕事が多様化する中で、政策理由等により当訓練科を廃止することが無いように要望する。

- 広報について

広く周知を得るためには、名前が大事だと思うが、「ポリテクセンター」は一般的に皆が認知しやすい言葉ではないと思う。なおかつ「職業能力開発促進センター」となれば尚更よくわかりにくいと思う。公の施設なので勝手に名前を変えられないのはよくわかるが、皆が認知しやすい施設名称の検討を要望する。

令和3年度熊本県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員名簿

氏名	所属及び職名
荒井 勝彦 (会長)	元熊本学園大学経済学部特任教授
花立 剛	熊本日日新聞社論説委員会副委員長
遠藤禮一郎	熊本県専修学校各種学校連合会理事 熊本工業専門学校副学長
友田 孝行	日本労働組合総連合会熊本県連合会会長
森田 操	日本労働組合総連合会熊本県連合会副会長
田村 仁	熊本県商工会議所連合会事務局長
原 悟	熊本県商工会連合会専務理事
岩永 秀則	熊本県経営者協会専務理事
斉藤 浩幸	熊本県中小企業団体中央会専務理事
渡邊 紀隆	荒尾商工会議所専務理事
杉原 慶	熊本労働局職業安定部長
桑原 光照	熊本労働局雇用環境・均等室長
中川 博文	熊本県商工労働部商工雇用創生局 労働雇用創生課長
岩下 正人	菊池公共職業安定所長
名垣 眞一	合志市副市長